

高齢者・障がい者入所施設に係る感染症対策専門家派遣指導事業 指導結果

指導年月日	令和2年11月4日（水）午後1時～3時		
高齢・障がい	障がい者施設		
施設種別	障害者支援施設		
対象施設名	指定障害者支援施設第一陶技学園		
運営法人名	社会福祉法人第一陶技学園		
所在地	〒507-0061 岐阜県多治見市姫町2丁目2番地		
定員	80人	職員数	約70人
指導者	社会医療法人厚生会 木沢記念病院 山田 実貴人 医師 医療法人香徳会 関中央病院 石原 弘美 看護師		

1 [前半] チェックリスト、事前提出資料等による施設指導

【講義】

- ・ 厚生労働省からの「新型コロナウイルス感染症の“いま”についての10の知識」が現在の中でわかりやすいので一読ください。

【事前質問への回答】

○基本的な質問

- Q1 一般的に赤ん坊や、幼い子供はマスク着用はしなくてよいと言われますが、障がい者の場合はどうでしょうか。例えば、表、裏の理解のない方や、マスクの表面を触らない方が良いなどの理解がなくても、マスクは使用すべきなのでしょう。マスク着用の基準などがあればご教示いただきたい。
- A1 ・ 本当に難しいです。先日、某病院に行った際に、着けることができなかつたり食べてしまったり色んなことがありました。できる限り着けるとしか言いようが無いです。手指消毒も飲んでしまうと言うことも聞いています。根本的な話ですが、あるべき姿が、突き詰めていくと見えなくなってしまいます。あるべき姿、現在の状態でどこまでできるのか、その施設でこの辺まではできるだろうと言うことを探さなければならぬと思います。マスクを着けることができない、しないならばどうしていくかを考えていかなければなりません。この質問に関する回答は、した方がよいができないならば他の対策を考えなければいけないことになります。
- ・ マスクを着ける、自分たちが飛沫を飛ばさないことに関しては、布とか不織布のマスクでは70パーセントぐらいは人に飛ばさない効果が発揮できるというデータがあります。飛ばさないと言うことでは職員は全員着ける必要があります。着けることができない方に対して無理矢理着けることはできませんので、楽しく着けることを検討することが必要です。マスクに自分の名前を書くとか、工夫されている高齢者の施設ではマスクに動物の絵を描いて、動物の絵に合わせて今日ほうさぎになるとか、レクリエーション的に着ける動物を見たことがあります。マスクだけに拘るのではなくマスクを着ることができないならばソーシャルディスタンス、できる限り距離を保つことができるような配置を工夫するなど考えるべきでは無いかと考えます。

Q 2 アルコールの噴霧で付着しているコロナウイルスは死滅しますか。

A 2 噴霧するだけでは死滅しません。拭いて、ある程度の時間接触させないと死滅しません。

Q 3 コロナのワクチンの効果はどのくらいですか。

A 3 現在のところ分かりません。

Q 4 ワクチンの接種は必要ですか。また日本で開発が進められているワクチンはDNAワクチンということを知りましたが、その安全性はどうですか。

A 4 現在のところ分かりません。

○感染症予防対策に関して

Q 5 入浴介助中は暑苦しいため、マスクなしでフェイスシールドのみで行っていますがどうでしょうか。

A 5 入浴中の介助はかなり密接します。入浴介助は暑いので、病院職員もマスク無しでお願いしたいと言ってくる場合がありますが、密接することや声をかけながら介助しなければならないため、こちらがマスク無しで介助することで患者さんに感染させてしまうリスクがありマスクは必須だと思います。マスクの代わりにフェイスシールドでは効果が無いので、効果を見るとマスクを着けることが原則であると考えた方が良いでしょう。

Q 6 利用者さんが在室中に換気ができません。(掃き出し窓を開けても、こだわりからすぐに閉められてしまうため) 有効な方法はありませんか。

A 6 換気扇をつけることが1番良いと思います。少しでも陰圧がかかれば抜けていきます。感染症病棟での外に対する排気は機器をつけるなど大変なことになりますが、何もつけずに外に出すことができるので換気扇をつけることが1番です。

Q 7 学園で行われている対策一覧において、徹底すべきこととそうでないことについて教えてください。

A 7 対策一覧は大変よくできているので、一覧表と感染症対策マニュアルに従って対応すればよいと考えます。

Q 8 出勤時と勤務中での衣類は分けるべきでしょうか。(ユニフォームの導入)

A 8 外部から持ち込まないようにすることと、施設の中でケアして外に持ち出さないようにすることに関する意見だと思います。基本的には服の汚染具合、例えばおむつの介助だったらその時にエプロンを着ければそんなに汚染することは無いと思います。PPEでしっかり防護できれば必ずしも着替える必要はありません。それができなければ更衣をして持ち出さないということに対しては有効だと考えますが、コストがかかってくるものであり一概にこうしなさいということではないと思います。エプロンの装着など汚れないようにすることが必要です。

○施設内で発熱者等が出た時の対応について

Q 9 岐阜県においては県主催の研修会で、感染者は原則入院で、行動障がいのある方にも保護室等を準備して入院と聞いていますがどうですか。

A 9 岐阜県内において感染者は原則入院です。ベッド数の120を超えた場合にどうするかは

これからのことですが、現時点ではできる限り入院してもらいます。行動障がいのある人には保護室を準備しての入院となっています。

Q10 インフルエンザかコロナか分からない期間、数人の発熱者が出た場合の対応はどうすべきでしょうか。

A10 数人の場合は発熱者とそうでない人とを分けることとなりますが、施設の感染症対策マニュアルは大変よくできているので、マニュアルにより対応すればよいです。

Q11 PCR検査とインフルエンザ検査を同時にできるキットの施設での使用は可能でしょうか。検査する際の感染のリスクはどうですか。

A11 医師の指示があれば使用可能と思いますが、その人が曝露しないように採取することができかどうかは問題です。基本的には医療行為になり嘱託医、関連する医師が指示を出すことが前提になります。キットだと擬陽性が出てきますし、採り方の問題もあります。上手く採る必要がありますし結構奥まで入れるのは怖いと言う人もいます。対象の方が暴れてしまわれると大変だと想像します。

Q12 利用者さんがコロナに感染した場合、支援員の帰宅場所などはどうしたらよいですか。全員が一人暮らしとは限らず、家族にも移しかねません。自宅以外に帰宅する場所を設けて頂ければ、感染者が出て家族に移す心配がなく、安心して勤務に当たれると思います。施設に宿泊できる場所もありますが、数に限りがあり難しいと思います。

A12 第一波の時には寮に泊まり込みました。家族に移してはいけない、感染してこのまま死んでしまうのかと思いましたが、第二波の時は家に帰りました。今の内に多治見のホテル等と協定を結んでおくこと等、準備しておいた方がよいのではないかと思います。

○その他の質問

Q13 家族が濃厚接触者となりPCR検査の結果陰性の場合、その職員の自宅待機（出勤停止）期間はどれほどにするべきでしょうか。

A13 家族が濃厚接触者でPCR陰性の場合には普通に仕事してよいはずですが、もしその人が2週間以内に症状が出て検査の結果陽性となった場合は、次にはその職員が濃厚接触者として就業制限がかかります。その時には、接触者としてしっかりマスクを付けて2週間の健康観察をしながら仕事をし、少しでも体調が悪ければ出勤せず検査することになります。これを（出勤停止を）やり出すと出勤できる人がいなくなってしまう。

Q14 衣類などの洗濯について、通常の洗濯と乾燥機で除菌できますか。

A14 衣類に付着するものによって取り扱いが変わってきます。失禁して体液で汚染されるようなケースでは、やはり消毒することが必要になってきます。消毒は次亜塩素酸ナトリウムやアルコールとなってきますが、病院では80度以上の熱湯をかけて10分以上放置し、それから洗濯機に入れる等のやり方をしています。体液等がまったく付着しないような衣類は通常の洗濯で構いません。その後、乾燥機をかけ熱処理がされるならば十分だと思います。

【感染症対策マニュアル】

- ・ 対象の定義がしっかり書いてあり分かりやすいです。
- ・ ゾーニングでレッドゾーンが多数確保されていますが、初期段階では陽性者が入院となれば、濃厚接触者のゾーンとして使用されることとなります。また、陽性者が入院できなかった場合は、陽性者のゾーンと、次に濃厚接触者のゾーンを分けることとなります。イエ

ローゼンとしてこれらの手配ができるとさらに良いものとなるでしょう。

【質疑応答】

Q 1 ホテル等宿泊場所との協定について、県としてはどのような考えですか。

A 1 現在、県としてホテルの宿泊業をしている協会に働きかけることまではしていません。各施設の近隣にて、状況に応じて事前調整いただければと考えます。必要な経費、借り上げ等にかかる費用は県の補助金にて支援可能です。1施設あたりの上限額がありますが、額の範囲内で支援します。

Q 2 入所型の施設は家族との接触の制限をしており、原則は面会禁止とし、1ヶ月に1回家族が来園される育友会も中止しています。老人関係の施設では面会を緩やかにする動きがありますが、今後どのような方向に進めたら良いですか。

A 2 私の勤務する病院ではちょっと緩めました。面会禁止から家族での短時間での面会は認めるようにしました。そのようにしないと患者さんの心の安定が確保できないことが分かってきました。来る人にはマスク着用で手指消毒をしっかりといただき、場合によっては個室での面会、距離を離して会っていただくような方法もあります。育友会は直接本人と合われる訳では無いため Zoom での対応や、オンラインで対応してもらうことがよいのかと思います。これから患者が増加した場合に、フェーズ毎に決めておくこともよいかと思います。

Q 3 病院であれば看護師さんが出勤後にナース服に着替えます。陶技学園の場合は着替えをしていません。出勤してきた服のままで利用者の支援を始めていくことは問題ないでしょうか。

A 3 病院では看護師や医師は白衣に着替えますが、それは何故かと言うことを考えると、我々が院外で色々なものを付着し、免疫の弱い患者に接触する時に病原性を発してしまっただけではないからです。施設に入所されている方は病院と比べて免疫力がそれほど低いとは言えないと思います。そこまで拘る必要は無く、それよりも手指衛生をしっかりと、手で媒介しないことに力を注いだ方が良いと思います。免疫力の弱い人が対象であれば、外から持ち込まないということでユニフォーム制もありとは思いますが。

Q 4 感染予防のため男性と女性の食事を分けており、元々共有していた場所が使えなくなっています。健康診断や内科検診も別々に行っています。今回歯科検診も中止しましたが、検診器具を置いたまま時間をずらして、男性の後に消毒や換気をして同じ場所で女性が受診することは可能ですか。

A 4 よいと思います。要は半分にして時間を倍かけて行うということです。1回の人数を半分にすることで密を避けることになります。

Q 5 時間をどれほど空けるのか、具体的に消毒等どのようにしたら良いのですか。

A 5 次亜塩素酸でざっと拭くだけで良いです。換気も30分行えば問題ありません。席をジグザグにするとすることは密度を半分にするということです。

2 [後半] 施設内での現場指導

○現場にて指導を受けた点について

- ・ 自活訓練室（面会室）のテーブルには利用者位置と面会者個々に消毒用のポンプを置く。自活訓練室カウンターには消毒ポンプがあるが、テーブルに2本設置する。
- ・ 通所の消毒ポンプは玄関内に設置するのではなく、ノブを触る前、玄関外に設置する。

- ・ マニュアルにおいて消毒の手順をもう少し明確にした方が良い。

3 【指導終了後】 講評

【指導者講評】

- ・ 実際に見させてもらい、またマニュアルも見て色々な話を聞かせていただき、非常に一生懸命に対応されていることが分かりました。これだけ準備されていればおそらく大丈夫だろうと思います。
- ・ しかしながらコロナウイルスはいつどこで入ってくるか分かりません。私の勤務する病院でも1人陽性が出ましたが、入ってきた時に自分たちのやってきたことが全部崩れてしまったような感じがしました。そのような時でも次に何をすれば良いのか、次のステップが出てきます。
- ・ これから第三波があって、予兆としては、例えば家族が陽性になった、家族が濃厚接触者になった、その内にスタッフが陽性になったとか、利用者の家族が濃厚接触者になった、陽性になったなど、だんだんと順を追ってくるのが分かると思います。そういった時にそろそろ引き締めなければいけないと思うときが見えてきます。
- ・ 一つ一つ行っていく中で、基本となることは、移らない、移さない、自分たちがマスク、手洗い、ディスタンス、3密を避けるようなことをしながら利用者の安全を図ることが一番です。
- ・ 皆が施設内感染をさせないように取り組んでいることが伝わってきました。話を聞いていても皆の本気度が伝わってきました。
- ・ 障がい者の方に指示が理解されにくい、指示を守ってもらえる状態ではないことを、現場を見て痛切に感じました。感染を広げてはいけないということに関しては、利用者の方々が気をつけるということより自分たちが気をつけることが大前提で職務に当たって頂けたらと思います。
- ・ 自分の体調が悪くとも人に迷惑をかけると少し無理して出勤してしまう、そういうところから感染が広がってしまうことがあり、くれぐれも職員の健康管理、職員は無理をしない、職員が補助しあい職場を回していけるチームワークを是非大事にしてください。施設内感染を広げないように、感染を食い止めるのは皆の思いやりだと思います。
- ・ 本気度、一生懸命なところから無理をしていないだろうかとも感じました。一生懸命なところは大事ですが、今はウィズコロナ、コロナがあって当たり前という世の中になってきています。どこか少し気を抜いてもいいのかな、その度合いは難しいですが、みんなで考えて、1日3回の消毒は大変だから、今はそんな流行っていないから床の消毒は1日1回でいいとか、色んな情報を元にチームワーク、正しい情報の元にウィズコロナを乗り越えていただきたいと思います。